



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

令和2年
2020
夏季号

Vol.36

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

「新しい日常」に生きる

新型コロナウイルスの感染拡大については、いわば「新しい日常」が始まっていますが、第2波の到来が懸念されています。県においては、感染拡大防止と万全の備えを整えるとともに、議会としては、地域の皆様の声を県に届け、引き続き県の体制整備を働きかけてまいります。

令和2年臨時県議会

(令和2年4月30日)

～新型コロナウイルス感染症
への緊急対策補正予算～

一般会計 **511億781万円**

企業会計 **100億円**

新型コロナウイルスにかかる国の緊急経済対策への対応や、感染症拡大の終息を図るため、感染拡大防止や医療提供体制の整備、県内事業者等への支援に要する経費を盛り込んだ補正予算が承認されました。

〈主な内容〉

- **感染拡大防止策と医療提供体制の整備**……167億7千万円
 - ◆ 介護施設、県立学校等へのマスク・消毒液等の配布
 - ◆ 医療機関における設備拡充、看護職員手当等の助成
 - ◆ 軽症者等を受け入れる宿泊施設の確保
 - ◆ 広報や知事記者会見における手話通訳の導入 など
- **雇用の維持と事業の継承支援**……200億3千万円
 - ◆ 中小企業の資金繰り支援及び休業支援
 - ◆ 生活困窮者への支援
- **新型コロナウイルス感染症対策推進基金等への積立**……119億円

「新しい生活様式」を踏まえた県議会運営

新型コロナウイルス感染防止のため県議会史上初の試みとして、本会議開催時に3分の1の議員は別室で、映像を通して審議しました。採決時のみ全員が本会議場の自席で審議しました。



令和2年6月定例県議会 (令和2年6月15日～7月3日)

感染拡大防止と企業支援等のための補正予算

一般会計 **107億4,118万円**

新型コロナウイルス感染症対策として、検査・医療提供体制をさらに強化するとともに、県内事業者への支援や児童生徒の学びの機会の確保などを内容とする予算が承認されました。

〈主な内容〉※一千万円未満は四捨五入

- **感染拡大防止と第2波への備え**……25億8千万円
 - ◆ 抗原検査の導入や民間検査機関におけるPCR監査体制の拡充
 - ◆ 市町村が実施する感染症対策事業への助成
- **中小企業に対する資金繰り支援**……56億円

新型コロナウイルス感染症対応資金及び経営安定資金の融資枠の更なる拡大

融資枠：
8,000億円 ➡ 1兆2,000億円
- **地域経済活動の回復に向けた支援**……6億8千万円
 - ◆ 飲食店等の休業により需要が急減している県産和牛等の消費拡大
 - ◆ 「新しい生活様式」を踏まえた取組等を行う商店街への支援
- **学びの機会の確保に向けた環境整備**……9億3千万円
 - ◆ 県立学校におけるICT環境の早期整備による遠隔学習機能の強化
 - ◆ 公立小・中・高等学校等への学習指導員の追加配置



6月定例県議会における議場の様子

感染症の第2波に備えるための追加補正予算

一般会計 **1,484億4,436万円**

新型コロナウイルス感染症対策の長期化・第2波に備えるため、国の第2次補正予算に対応して、医療供給体制の強化や医療・介護従事者等への支援、事業主等への家賃支援などを内容とする予算が承認されました。

〈主な内容〉※一千万円未満は四捨五入

- **医療供給体制の強化**……491億8千万円
 - ◆ 重点医療機関に対する病床確保・設備整備への助成
 - ◆ 医療機関・薬局等の院内感染防止対策への助成
 - ◆ コロナ対策チーム (COVMAT) の設置・運営
- **医療・介護従事者等への支援**……373億1千万円
 - ◆ 医療従事者等への慰労金
 - ◆ 介護施設職員等への慰労金
- **感染拡大防止対策**……118億5千万円
 - ◆ 介護施設等の感染防止対策やサービス再開に向けた支援
 - ◆ 幼稚園、県立学校等における感染防止対策
- **中小・小規模事業者への支援**……120億2千万円
 - ◆ 中小企業、個人事業主への家賃支援
 - ◆ テレワークを導入する県内企業等への支援
- **生活に困っている人への支援**……142億1千万円
 - ◆ 生活福祉資金の特別貸付への助成
 - ◆ ひとり親世帯臨時特別給付金の支給

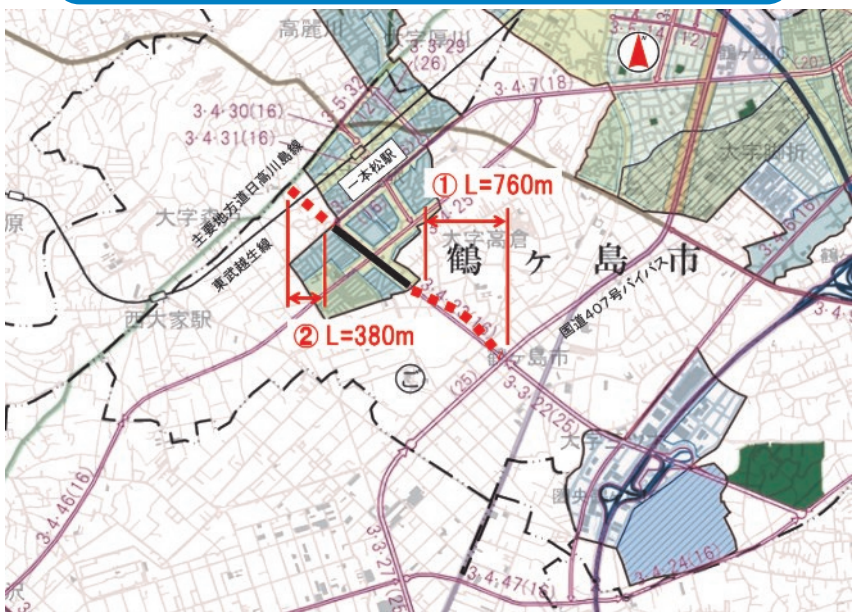
「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」が設置される

新型コロナウイルス感染症対策に関する県の施策を審議するため、18人の委員からなる特別委員会が設置されました。閉会中の審査を行い9月定例県議会において提言を行う予定です。

台風第19号による被害箇所の復旧工事が終わりました



新川越越生線(仮称)の事業再開



本バイパスは、20年以上進捗がストップしていましたが、路線に関係する自民党県議の粘り強い働きかけにより、令和元年度から事業が再開しました。今年度は国道407号バイパス（鶴ヶ島市）から県道日高川島線までの区間①について、道路詳細設計に入りました。現在、東武越生線をまたぐ箇所（②鉄道の下部を通す予定）について、県が東武鉄道と協議しています。

県道から先のルート（坂戸市・毛呂山町・越生町）については、県と関係市町との研究会の場で協議が進んでおり、7月中にルート案を絞り込む予定です。

自民党議員団新型コロナウイルス感染症対策本部

自民党議員団では、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する県の対応について情報収集するとともに、提案・要望を行うため、4月から対策本部を設置しました。団の対策本部においては、毎週、団所属県議をはじめ団体等からの要望や意見を取りまとめて県に提案・要望を提出しています。6月までに53件の提案が提出され、県の対策や補正予算等に反映されました。

武内まさふみの活動日誌

■文教委員会の閉会中審査

6月定例会開会前の6月9日、文教委員会（武内県議が所属）が開催され、令和2年2月定例会で継続案件となっていた教育長の任命に関する議案について、全会派一致で同意しました。その後、6月定例会の本会議において承認され、高田氏は令和2年4月1日から令和5年3月31日まで教育長に任命されることになりました。

■「寶CRAFT埼玉越生うめ」耐ハイの発売を知事に報告

宝酒造（京都市）は、越生町産の梅を使った耐ハイ「寶CRAFT埼玉越生うめ」を6月9日から首都圏限定で発売を始めました。埼玉県内産の農産物を取り入れた耐ハイは、越生町産のユズを使った商品に続き2商品目です。越生町長らと知事を訪問し、PRなどの支援をお願いしました。

（6月16日）



▲知事室にて

■自民党議員団が令和3年度県予算への市町村要望を提出

毛呂山町、越生町、鳩山町における県の来年度予算に対する要望を自民党議員団で受け、団から知事に対して要望書を提出します。この要望は毎年実施しているもので、このたび、武内県議は7月に3町長と協議の上、要望項目をまとめました。

〈要望事項〉

毛呂山町

1. 越辺川・大谷木川など災害に強い河川改修
2. 近隣市・町（西坂戸地区と葛貫地区）を結ぶ道路整備
3. 中山間地域における有害鳥獣の駆除と対策強化
4. スマートシティモデル事業に対する支援
5. 新川越越生線(仮称)の早期整備

越生町

1. 台風第19号による災害復旧
2. 被害避難所として利用する公共施設等の改修に対する補助金の創設
3. 主要地方道飯能寄居線の歩道整備
4. 県道旧東松山越生線の幅員拡幅
5. 小規模な水道事業体に対する補助制度の創設

鳩山町

1. 県道ときわがわ坂戸線の歩道のバリアフリー化
2. 一級河川鳩川の樹木伐採・河道掘削（浚渫）